

# 東京国立博物館 教育普及国際シンポジウム 「伝統文化を伝えるために博物館ができること」

## 開催趣旨

時代を超えて継承されてきた伝統文化は、現代の人々にとっては馴染みの薄いものになりつつあります。しかし、その国や地域の特色を示すものであり、保護し、後世に伝えていく必要があります。伝統的な文化財を保管する博物館は、どのような役割を果たすべきでしょうか、また何ができるでしょうか。

このシンポジウムは日本と諸外国の博物館の事例報告を聞き、伝統文化を伝えていく方法、意義について考え、意見を交換する場とします。

\* 本事業は、平成 17 年度～21 年度科学研究費基盤研究(A)「博物館教育・普及事業の事例分析と日本の伝統文化に関する先駆的教育・普及理論の構築」(研究代表者：井上洋一)の一環として行ないます。

## ○開催概要

日程：平成 22 年 1 月 24 日 (日) 午前 10 時～午後 6 時

会場：東京国立博物館平成館大講堂・ラウンジ

定員：先着 350 名 (要事前申込) 参加費無料

主催：東京国立博物館

同時通訳 (日・英) 付

対象：博物館・美術館関係者、教育普及担当者、博物館教育研究者、博物館学に携わる大学教員、博物館教育に興味を持っている学生、インターン、ボランティア、フリーエデュケーター、教育学部の学生及び教員、博物館を利用する学校教員など、広く、博物館と関わっている方々

\* 当日の入退場は平成館西玄関になります

## スケジュール

9:30～10:00 受付

10:00～10:05 開会挨拶 館長 錢谷眞美

10:05～10:15 問題提起 企画課長 井上洋一

### 第一部 東京国立博物館の事例

10:15～10:45 「東京国立博物館の教育普及—伝統文化を伝えるために」  
教育普及室主任研究員 鈴木みどり

10:45～11:15 「『仏像のひみつ』から博物館へ」 清泉女子大学教授 山本勉氏

11:15～11:45 「使う器の魅力へのアプローチ—特別展『染付—藍が彩るアジアの器』を例に」 東洋室長 今井敦

### 第二部 さまざまな館の事例を通して～自国の伝統文化・美術を伝える

13:15～13:45 「体験型博物館による伝統文化の継承」  
千葉県立房総のむら 広報・普及グループ長 大野康男氏

13:45～14:15 「英国文化の普及のための展示室における多様な取り組み」  
ヴィクトリア&アルバート美術館 Head of Gallery Interpretation  
Juliette Fritsch 氏

- 14:15～14:45 「次世代を伝統文化につなげるためにできることーオーストラリア国立博物館 Talkback Classroom を中心にー」  
オーストラリア国立博物館 Education Manager David Arnold 氏
- 14:45～15:15 「楽しく、親しみやすい学びーシンガポールに生まれたプラナカンの文化を伝えるために」  
シンガポール国立アジア文明博物館 Education Manager  
Karen Chin 氏
- 15:45～17:00 パネルディスカッション  
コーディネーター 広報室長 小林牧  
パネリスト 大野康男氏、Juliette Fritsch 氏、David Arnold 氏、  
Karen Chin 氏、鈴木みどり
- 17:00～18:00 ポスターセッション
- 18:00～懇親会（有料）を予定。

### ○参加申込および問合せ先

**E-mail** にて、以下の事項をご連絡ください。なお、メールの件名には「教育普及国際シンポジウム申込」とお書きください。

①名前 ②ご所属 ③連絡先の電話番号 ④E-mail アドレス ⑤ポスターセッション発表のご希望の有無 ⑥懇親会の出欠 ⑦パネリストに聞いてみたいこと

申込先：edu@tnm.jp

**申込締切：ポスターセッションの発表希望締切ー2009年12月18日(金)**

**シンポジウム申込締切ー2010年1月17日(日) (ただし、定員に達した時点で締切)**

なお、申込メールの受領の返答はいたしません。定員を超えた場合にのみ、ご連絡致します。

### [ポスターセッションについて]

ポスターセッションは、実際に博物館で実施した日本の伝統文化や伝統美術、歴史などに関わる取り組みを募集します。

ポスター形式のほか、ワークショップの成果物や鑑賞支援ツールをお持ちいただく、その場で参加できるアクティビティを少人数対象に実施するなど、さまざまな形式での参加をお待ちしています。

ポスターセッション希望者には、こちらから再度連絡致します。

なお、当日 17:00～18:00 は、各ポスターセッション設置場所での対応をお願いします。

東京国立博物館教育普及国際シンポジウム事務局

E-mail:edu@tnm.jp